

医師限定アンケート “最も好きな医療マンガ”は何ですか？

～ 「ブラック・ジャック」が、医師1,645人（得票率54%）の支持で1位を獲得 ～

メドピア株式会社（東京都渋谷区、代表取締役：石見陽）は、同社が運営する医師専用サイト「MedPeer」（URL：<https://medpeer.jp/> 会員医師5万人以上）において、「最も好きな医療マンガ」に関するアンケート調査を実施しました。3,040名の医師が回答し、以下の結果となりました。

■結果：

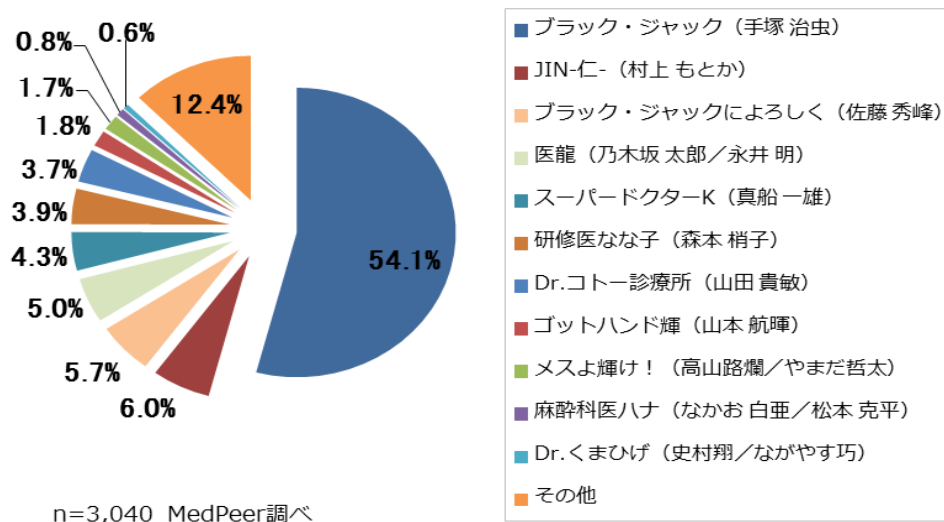
- ・ 医師専用サイト「MedPeer」に登録する医師5万人以上のうち、回答受付期間中、**3,040名の医師が本設問に回答を寄せた。**
- ・ 過半数におよぶ**54.1%（総回答数3,040名のうち1,645名）の医師が「ブラック・ジャック」を「最も好きな医療マンガ」として回答。**世代別でも、**20代から60代以上の全世代で第1位の支持**を得た。
- ・ 「ブラック・ジャック」には、“医療マンガの王道（50代、一般内科）”、“人間ドラマの原点（40代、泌尿器科）”、“不朽の名作（50代、整形外科）”という声が多く、“これを読んで外科医になりたいと思ひ医学部へ進みました（40代、一般外科）”、“医療の原点をついている（50代、一般内科）”、“嘘とは思わせないリアルさがある（50代、消化器外科）”等の意見も、回答とともに寄せられた。
- ・ **2位は「JIN-仁-」で、6.0%。**“昔はブラック・ジャックだったけど、今は仁ですね”（40代、一般内科）”などの意見の他、“ドラマシリーズでファンになり、全巻大人買いしました（30代、産婦人科）”、“ドラマが話題になってから読みました。ひさしぶりに面白かったです（50代、一般内科）”、“ドラマを見てから漫画購入しました。（40代、小児科）。”など、TVドラマシリーズをきっかけに原作のファンになったという意見もみられた。
- ・ **3位は「ブラックジャックによろしく」で5.7%。**“最近、無料ダウンロードできるので読破しました（30代、一般内科）”、“リアルではまりました（30代、呼吸器外科）”、“かなり取材してそうな印象がある（40代、産婦人科）”、“研修医の立場から、様々な問題提起をしてくれるので、考えさせられます（40代、精神科）”、“身につまされる。懐かしい頃を思い出す（40代、循環器内科）”、といった意見がみられた。

結果詳細： 次項

□ 「最も好きな医療マンガ」に関する調査（総合結果）

順位	回答	得票	比率
1	ブラック・ジャック（手塚 治虫）	1,645	54.1%
2	JIN-仁-（村上 もとか）	181	6.0%
3	ブラックジャックによろしく（佐藤 秀峰）	173	5.7%
4	医龍（乃木坂 太郎／永井 明）	152	5.0%
5	スーパードクターK（真船 一雄）	131	4.3%
6	研修医なな子（森本 梢子）	120	3.9%
7	Dr.コトー診療所（山田 貴敏）	113	3.7%
8	ゴットハンド輝（山本 航暉）	54	1.8%
9	メスよ輝け！（高山路爛／やまだ哲太）	51	1.7%
10	麻酔科医ハナ（なかお 白亜／松本 克平）	25	0.8%
11	Dr.くまひげ（史村翔／ながやす巧）	17	0.6%
-	その他	378	12.4%
		3,040	100.0%

□ 「最も好きな医療マンガ」に関する調査（内訳）



□ 「最も好きな医療マンガ」に関する調査（世代別）

20代		(総回答：141)	
順位	作品	票数	内訳
1	ブラック・ジャック	68	48.2%
2	医龍	20	14.2%
3	ブラックジャックによろしく	14	9.9%

30代		(総回答：799)	
順位	作品	票数	内訳
1	ブラック・ジャック	370	46.3%
2	ブラックジャックによろしく	66	8.3%
3	スーパードクターK	59	7.4%

40代		(総回答：1102)	
順位	作品	票数	内訳
1	ブラック・ジャック	592	53.7%
2	JIN-仁-	62	5.6%
3	スーパードクターK	56	5.1%

50代		(総回答：835)	
順位	作品	票数	内訳
1	ブラック・ジャック	514	61.6%
2	JIN-仁-	50	6.0%
3	ブラックジャックによろしく	35	4.2%

60代以上		(総回答：163)	
順位	作品	票数	内訳
1	ブラック・ジャック	102	62.6%
2	Dr.コトー診療所	8	4.9%
3	JIN-仁-	7	4.3%

□ 「最も好きな医療マンガ」に関する調査（回答した医師のコメントを抜粋）

「ブラック・ジャック（手塚 治虫）」 1,645件

- ・手塚治虫のヒューマニズムを感じます。(60代、小児外科)
- ・子供の時に、深く考えずに楽しめました。その他は成長してから読んだため、そんなの有るか！？と思わずにいられませんでした。(40代、一般内科)
- ・手塚治虫の漫画は哲学があり品位のある漫画だと思う。(50代、整形外科・スポーツ医学)
- ・子供時代に受けたインパクトには、大人になってから読んだ漫画はかなわない。(30代、代謝・内分泌科)
- ・大体どこの医局にも当直室にもありましたね。手塚治虫博物館もマンガ博物館も行きました。医療マンガに限らず彼の作品はほぼ全クリです。(40代、小児科)
- ・このマンガにあこがれて医師になりました。同級生の半数がそうだったかも。(40代、循環器内科)
- ・あまりまんがは読まないがこれだけは知ってます。(40代、小児科)

- ・不朽の名作、息子の世代も熱心に読んでいます。最近の作品にはこれを凌駕するものは見当たらない。(50代、呼吸器外科)
- ・ありえないファンタジー的なところが魅力。リアルっぽい漫画だと、現実との違いが目につきすぎて、イライラするから。(30代、精神科)
- ・現実とかけ離れ過ぎているので楽しく読めます。(30代、消化器内科)
- ・他のは読んだあと何かしら暗い気分やうそくささなどネガティブな感じを抱くけど、これだけは読んだあとスッキリする。(30代、泌尿器科)
- ・現実離れしていても、話にはいっていきけるストーリーだと思います。(30代、皮膚科)
- ・今読み返しても(描かれた当時の医学・医療水準を考慮して、また現在の状況を鑑みるとよけいに)面白い。(40代、リハビリテーション科)
- ・ただのゴッドハンドというのが主題ではなく、いのちとは何かを考えさせる内容であるところがいい。(30代、呼吸器外科)
- ・現実味はないが、逆にそれが夢があって良い。妙にリアルな漫画は世間に誤解を生むだけ。(20代、循環器内科)
- ・医者になって読んでみると、設定はムチャなところもありますが、信念を持って医療をしていることが伝わるので、やはり名作だと思います。(30代、整形外科・スポーツ医学)
- ・小学生時代に夢中になり、今でも永遠のバイブルです。(40代、放射線腫瘍科)
- ・卒後27年ですが、我々の世代はなんと言ってもこれだと思います。コミックは全巻揃えました。手塚さんが本来外科医であったための精密な臓器描写も凄かったです。なんと言っても、あのマインドですよ。現実離れしてる事が解っていても、いや、だからこそ憧れなんですよ。(50代、一般内科)

「JIN-仁- (村上 もとか)」 181件

- ・点滴や注射、開頭術をしたりと現実離れしているところがおもしろい。(50代、循環器内科)
- ・漫画よりドラマが面白かったです。(20代、泌尿器科)
- ・医療と歴史の両方についてかなり深く調べてある。(30代、皮膚科)
- ・昔は随分マンガを読んだものです。仁はドラマが話題になってから読みました。ひさしぶりに面白かったです。(50代、一般内科)
- ・ドラマが素晴らしかったのと、コンセプトが面白かったので。(30代、精神科)

「ブラックジャックによろしく (佐藤 秀峰)」 173件

- ・懐かしい。開業医になった直後にスタッフから薦められて読みました。面白かったです。(50代、皮膚科)
- ・こんな研修医いたら大変だろ。と思いつながらみました。(30代、皮膚科)
- ・ストーリーに真面目さを感じます。作者に何度かお会いして、文献をよんだり、慎重・真剣に取り組んでいるのが伝わりました。(40代、呼吸器内科)
- ・私は精神科医ですが、この漫画は精神科医向けではないでしょうか。(30代、精神科)

- ・研修医時代、旧研修医制度で苦しんだとき、読んで励まされました。(30代、消化器内科)

「医龍(乃木坂 太郎/永井 明)」 152件

- ・外科医としては熱くなるものを感じるので医龍を愛読している。(50代、一般内科)
- ・絵柄と、キャラ設定など、琴線に触れました。(20代、精神科)
- ・現実ではありえないことがたくさん起こるが、そこがまたかっこいい。(30代、循環器内科)
- ・医療の現場がリアルに再現されてて面白いです。(30代、精神科)
- ・かっこいいから。ドラマの音楽も大好きです。(30代、眼科)
- ・テレビドラマ化もされ、尚いっそう好きになりました。自分にはないものを全て持っている様に見え、現実には無いと知りつつも懂れます。(40代、一般内科)
- ・それぞれ背景にドラマを持ったキャラクターが複数いたので飽きなかったです。(30代、小児科)

「スーパードクターK(真船 一雄)」 131件

- ・子供のころに繰り返し読みました。(30代、呼吸器内科)
- ・アクションあり、涙あり、と楽しい漫画でした。(30代、耳鼻咽喉科)
- ・BJと迷いましたが、高校生の頃に熟読して医師になる原動力となったSDKに一票！(30代、整形外科・スポーツ医学)
- ・主に医学生時代に読んでいましたが、医学に興味を持つことが出来ました。(40代、一般内科)
- ・全巻揃えています。強靱な肉体に憧れていましたね。(40代、小児科)
- ・あり得ない…と思いつつも、惹かれます。(30代、呼吸器内科)
- ・内容が痛快で面白い。(50代、精神科)

「研修医なな子(森本 梢子)」 120件

- ・のほほんとした雰囲気が他の医療マンガと違って面白かったです。(40代、循環器内科)
- ・自分と同じ時代の古き良き研修生活を実感しました。(40代、一般内科)
- ・いちばん医師の生活を偏見なく、誇張なく描いてくれているマンガだと思います。(30代、循環器内科)
- ・意外とこのなかで医療現場の実情にあっていると思います。(40代、腫瘍内科)
- ・女医さんの漫画ってあまりないので、楽しめました。(30代、一般内科)
- ・楽しく、また違和感なく読める医療マンガだと思います。全巻持っています。(40代、一般内科)
- ・実際に経験するような、私が指導した女医さんを思い出させてくれます。(50代、整形外科・スポーツ医学)

「Dr.コトー診療所(山田 貴敏)」 113件

- ・離島に6年間勤務していたので、ちょっとなつかしくもある。(50代、一般内科)
- ・現実離れたストーリー展開もありますが、好きです。(50代、皮膚科)
- ・ドラマも見ていました。非現実的な方が娯楽として楽しめる。(呼吸器内科)

- ・景色描写が美しく、その孤島にいったん見たくなくなります。(50代、腫瘍外科)

「ゴットハンド輝（山本 航暉）」 54件

- ・この漫画から今の病院に取り入れたものがいくつかあります。外科医として元気が取り戻せる漫画です。文庫版で読んでます。(40代、脳神経外科)
- ・豆知識のように一話ごとに覚えることもでき、テンポもよいので読みやすいです。(30代、形成外科)
- ・前半は面白かった。実際に役に立った場面もある。(50代、一般内科)

「メスよ輝け！（高山路爛／やまだ哲太）」 51件

- ・高校時代に「メスよ輝け」を友人に勧められて、読んでいくうちに医師に魅力を感じました。(30代、乳腺・内分泌外科)
- ・外科医のバイブルです。(30代、循環器外科)
- ・「メスよ輝け！」がもっとも良くできていますかね。映画にもなっています(孤高のメス)が、映画ともに良いですよ。(30代、消化器内科)

「麻酔科医ハナ（なかお 白亜／松本 克平）」 25件

- ・麻酔科の実態に近い話が多く面白い。(40代、麻酔科)
- ・麻酔科医を漫画にするのはよいこと。一般人は何をしているか分からないとおもう。(20代、麻酔科)
- ・暗い気持ちにならなくて済むから。(50代、整形外科・スポーツ医学)

「Dr.くまひげ（史村翔／ながやす巧）」 17件

- ・最近の漫画は主人公はスーパードクターばかりなので読んで不愉快になることも多い。くまひげもスーパードクターですが医療技術云々ではなく人間味あふれるところに共感します。学生のころこんな医者になりてー、とっていました。(40代、一般外科)

■調査方法

□概要：

医師専用サイト「MedPeer（メドピア）内の「ポスティング調査」コーナーにおいて、MedPeer事務局（運営：メドピア株式会社）より、以下の質問を投稿しました。

□期間：

2012年11月13日～2012年11月19日

□設問：

以下の通りです（サイト内、原文のまま）

なお、「10. その他」の回答のうち、付帯コメント内に記載された作品名を別途集計。10票以上については、集計に反映をしました

MedPeer（メドピア）事務局からの質問です。

医師や病院をテーマにした医療マンガは、いつの時代も人気を博しています。世代を超えて読者を魅了する名作がある一方、日々新たな作品も生まれ続けています。

先生が最も好きな医療マンガは何ですか？

医師だからこそ""ハマった""作品や、医師を目指す""キッカケとなった""作品など、最も親しみのある医療マンガをお教えてください（今回は、原作が漫画作品のものを対象とします）。

-
1. ブラック・ジャック（手塚 治虫）
 2. JIN-仁-（村上 もとか）
 3. ブラックジャックによろしく（佐藤 秀峰）
 4. Dr.コトー診療所（山田 貴敏）
 5. ゴットハンド輝（山本 航暉）
 6. 医龍（乃木坂 太郎／永井 明）
 7. スーパードクターK（真船 一雄）
 8. 麻酔科医ハナ（なかお 白亜／松本 克平）
 9. 研修医なな子（森本 梢子）
 10. その他 ※コメントに、作品名をご記載ください

【本件に関するお問い合わせ先】

メドピア株式会社 経営企画室 TEL：03-6805-0345 / e-Mail：info@medpeer.co.jp

【引用に際してのお願い】

- ・「医師専用サイト MedPeer 調べ」、であることの明記をお願い致します。
- ・web 上での引用に際しましては、<https://medpeer.jp> へのリンクをお願い致します。

■ MedPeer (メドピア) とは

法人沿革：

2003年、現メドピア代表取締役である石見 陽が中心となり有志団体「ネット医局」を組織、医師向けの情報交換サービスを開始する。同組織を発展させるかたちで、石見 陽が2004年にメディカル・オブリージュ（現メドピア株式会社）を設立。事業準備期間を経て、2007年に医師専用の質問回答コミュニティサイト「Next Doctors」（ネクスト・ドクターズ）のサービスを開始。2009年に、運営サービス名を「MedPeer」（メドピア）に改称、また2010年にメドピア株式会社に法人名を改称し、現在に至る。

会社名 : メドピア株式会社

運営サービス : MedPeer (メドピア) 医師専用コミュニティサイト

<https://medpeer.jp/>

設立 : 2004年12月

資本金 : 2億2,985万円（資本準備金1億130万円含む）

代表取締役 : 石見 陽（医師・医学博士）

医学顧問 : 名古屋大学大学院医学系研究科循環器内科学教授 室原 豊明

**

サービス概要：

「MedPeer（メドピア）」は、医師専用のインターネットサイトです。

MedPeer 医師会員同士による情報共有サービス「薬剤評価掲示板」や、特定疾患治療に関するエキスパート医師による情報提供「Meet the Experts (MTE)」、有名臨床指定病院の所属医師参加のオンライン症例検討会「インタラクティブ・ケース・カンファレンス」など、“臨床の決め手がみつかるサイト”として、多くの医師が利用をしています。

現在の会員は5万人以上で、日本の医師の約5人に1人が利用するサービスです。また、「薬剤評価掲示板」では、約1,700の医療用医薬品に対して、20万件以上の医師会員による処方実感、クチコミ評価が投稿されています。

“MedPeer（メドピア）とは”に関する情報は、2012年10月末日時点のものです